

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 19-043)

1 1996年に就役したパラオの巡視船 H. I. Remeliik (39.5m) が24年の任務を終え、3月13日の式典で解役した。同船は乗組員とともにオーストラリアに出发し、そこで船は解体され、乗組員は新しい代替船で2か月間訓練を実施した後、本年6月に戻る予定。式典には、パラオ側からはレイノルド・オイロー副大統領兼法務大臣、海上法令執行部 (DMLE) のビクター・レメンゲサウ局長代理をはじめ、元法務大臣や、海上法令執行部の元職員、H. I. Remeliik の元乗組員や現乗組員らが出席し、オーストラリア側からはLCDR クリント・モアー氏、CP0 ロビン・エルキントン氏等が同席した。

[原文](#)

(17th March 2020, Island Times)

※以下の Island Times は、時間帯によって表示に時間がかかる場合やアクセスできない場合がございます。その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試しください。

2 パラオのほぼすべての国際定期航空便が一時運休となり、3/26以降、グアムとパラオ間で週1回のユナイテッド航空のみとなる。

- ・中華航空：パラオ-台湾の3/26～4/19 全便運休
- ・ユナイテッド航空：グアム-パラオ-マニラとマニラ-パラオ-グアムの路線が3/21以降運休。3/26以降、週1回のみパラオ行きのフライトに変更
- ・大韓航空：追って通知があるまで運休
- ・アジアナ航空：3/26～4/19 まで運休
- ・キャロライン諸島航空：パラオ-ヤップ週1便、金曜日又は土曜日
- ・日本航空：3/20、24、28 までチャーター便を継続
- ・スカイマーク等の他の航空会社：チャーター便の予定なし

[原文](#)

(20th March 2020, Island Times)

3 パラオのサダン財務相は、COVID-19 危機について取り上げた国内のリーダーが集まる会議の場で、「政府の歳入について 50%超の不足が予想される」と述べた。行政、国会、司法等の一般的な運営のための2020年度予算(8,600万USドル)は、そのうち、地方歳入6,650万USドルを見積もっており、これは日本との直行便の再開や建設活動の拡大による観光収入の増加に基づくものであった。50%減の場合、予算不足は3,000万ドルを超える。同相は、現在予算の見直し中であり、政府の財政状態の変化を反映する新しいレポートを提出すると述べた。

[原文](#)

(20th March 2020, Island Times)

4 中国と太平洋島嶼国は、新型コロナウイルスについてのテレビ会議を行い、中国の医療専門家による太平洋地域からの質疑応答も行われた。会議にはパプアニューギニア、ミクロネシア連邦及びトンガの保健省のトップらを含め、サモア、フィジー、バヌアツ、ソロモン諸島、キリバス、クック諸島、ニウエから 100 人以上が参加した。中国は、同会議に関するプレスリリースで、太平洋地域の外交関係を持つ国々と協力して、情報共有、伝染予防協力を進め、地域と世界の健康に関するセキュリティを確保すると述べている。

[原文](#)

(12th March 2020, PACNEWS)

5 オーストラリアのクイーンズランド州政府が、COVID-19 のため貨物船に 14 日間の海上検疫命令を課したため、家電・電気製品の卸売業者や小売業者にとって大きな打撃となっている。同措置は、家電製品の大部分が製造されている中国と韓国からの船を対象とし、ニュージーランドと南太平洋からの船舶は除外されている。オーストラリアのコンテナ貿易の 70%を輸送する各船会社を代表する Shipping Australia は、同措置はいくつかの港で適用され、さらに対象港が拡大するおそれがあると述べた。

[原文](#)

(19th March 2020, ChannelNews)

6 中国東部の福州港は、コロナウイルス拡散阻止のため、日本、韓国、イラン、フランス、ドイツ、スペイン、イタリア、アメリカ、シンガポールから到着する船舶に 14 日間（それらの国を出港したときからカウント）の検疫が完了するまで入港を認めておらず、これは、特に、通常 1 週間以内に中国に到達するアジア諸国からの貨物に打撃を与えている。世界海運評議会（World Shipping Council）によれば、福州港は 2018 年に世界で 47 番目の繁忙港であるが、中国のより大きなハブ港であり、多くの沿岸人口を有する広州、上海、天津が同様の措置をとる懸念がある。

[原文](#)

(19th March 2020, The Straits Times)

7 専門分析会社 Sea-Intelligence は、コロナウイルスの影響で、2020 年のコンテナ輸送は 2009 年の世界金融危機と同様の 10%又は約 1,700 万 TEU の損失を生じる可能性があり、結果として破産の現実的なリスクがあると警告した。

[原文](#)

(16th March 2020, Seatrade Maritime)